未來への展望

南科開発は既に第9年目に入り、過去8年では輝かしい開発や運営成績を上げている。2005年では以下8項目を目標にし、南科が南部 業の発展そして、南台湾に産業発展の礎を築くために努力を続ける。

■ 展望一　企業招致と運営目標の達成

2005年20社投資企業誘致に成功し、(その中2社国際レベル企業含む)、就業人口は45,000人に達し、営業高は9,600億円以上を目標としている。現段階における発展と世界の景気状況から判断して、目標営業高は1兆1,520億円であり、もし順調に達成できれば、2009年における営業高は3.2兆円になるであろう。

■展望二　南科バイオテクノロジー産業発展を促す

台南園区バイオ標準型工場の駐在率

台南園区にはcGMP標準型バイオ工場が竣工され、24ユニットある。今後誘致活動を強化し、バイオ工場の駐在率の引き上げを目指す。

高雄園区バイオ医療技術機材産業専業園区

高雄園区南側規に14ヘクタールものバイオ医療技術機材産業専業園区を設け、南部区域既有の金属産業と協力させ、高雄園区産業集積の特色を作り上げ、世界的な医療機器研究開発製造センターを目指す。

高雄バイオテクノロジー園区

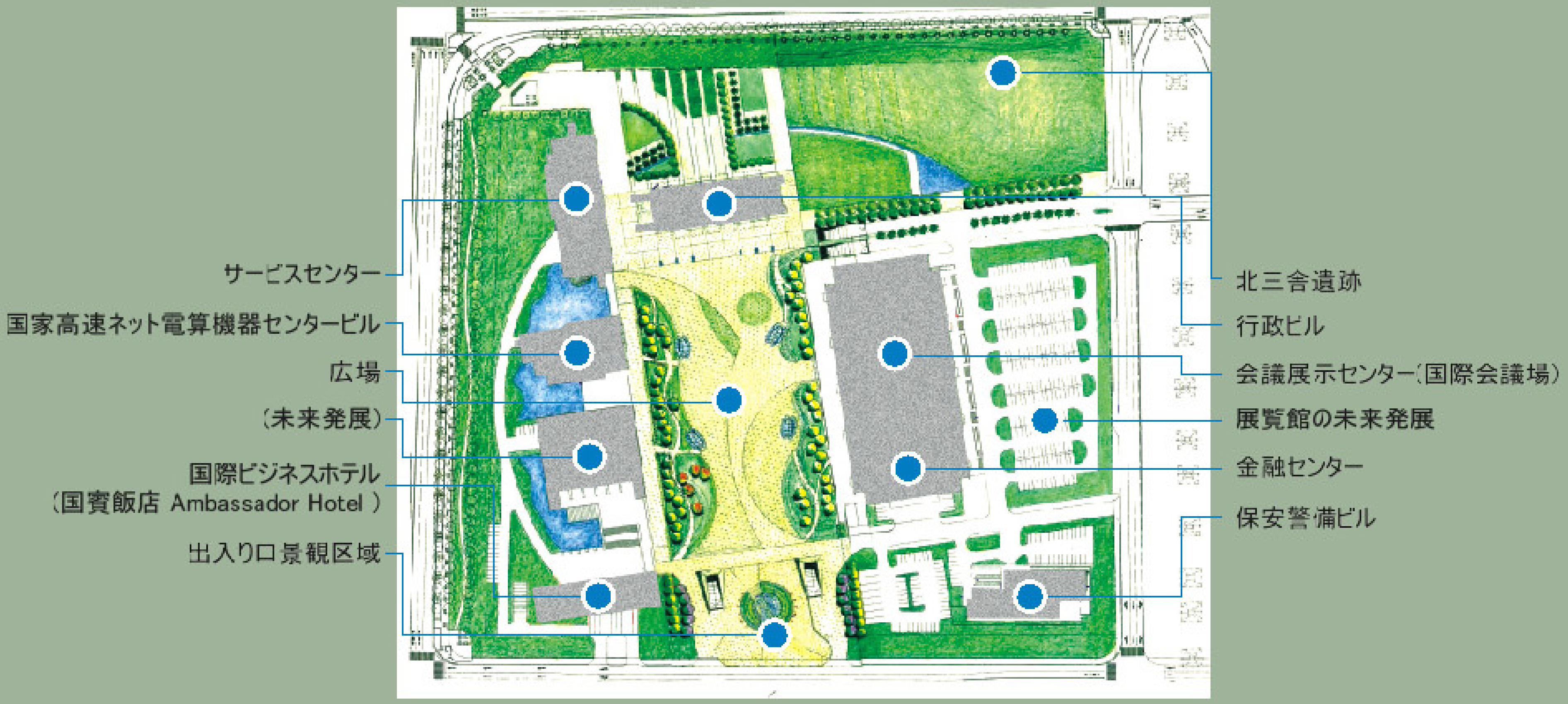
2005年度は規定に従い園区内の詳細について企画し、2008年に竣工し企業駐在可能となることを目指す。

■展望三　行政サービス区域を小型世界貿易センター化

行政サービス区域の面積は11ヘクタールあり、その中、行政ビル・保安警備ビル・国家高速ネット電算機器センタービルは2005年1月30日に竣工し使用されている。2007年国賓飯店(Ambassador Hotel)の進出経営されるビジネスホテル・会議展示センター(国際会議場含む)・金融センター・展覧館なども漸次竣工され、南科世界貿易センターとして大きな局面を迎えるであろう。

■展望四　人材育成

継続的に人材育成の強化をし、2005年に国科会人材育成補助計画と共に専門産業人材育成を行い、大学専門学校と園区とが協力し各種人材育成訓練カリキュラムを開講する。



＞台南園区行政サービス区域企画予定図

■展望五　南科国際実験中学

積極的に南科国際実験中学の設立要請を願い、2005年に準備機構を立ち上げ土地の確保など前段階業務を開始し、2006年に学校(バイリンガル部含む)建設開始され、2007に高校部を成立させ、2008年校舎完成を目指す。

■展望六　運動公園・健康生活館・コミュニティーセンター

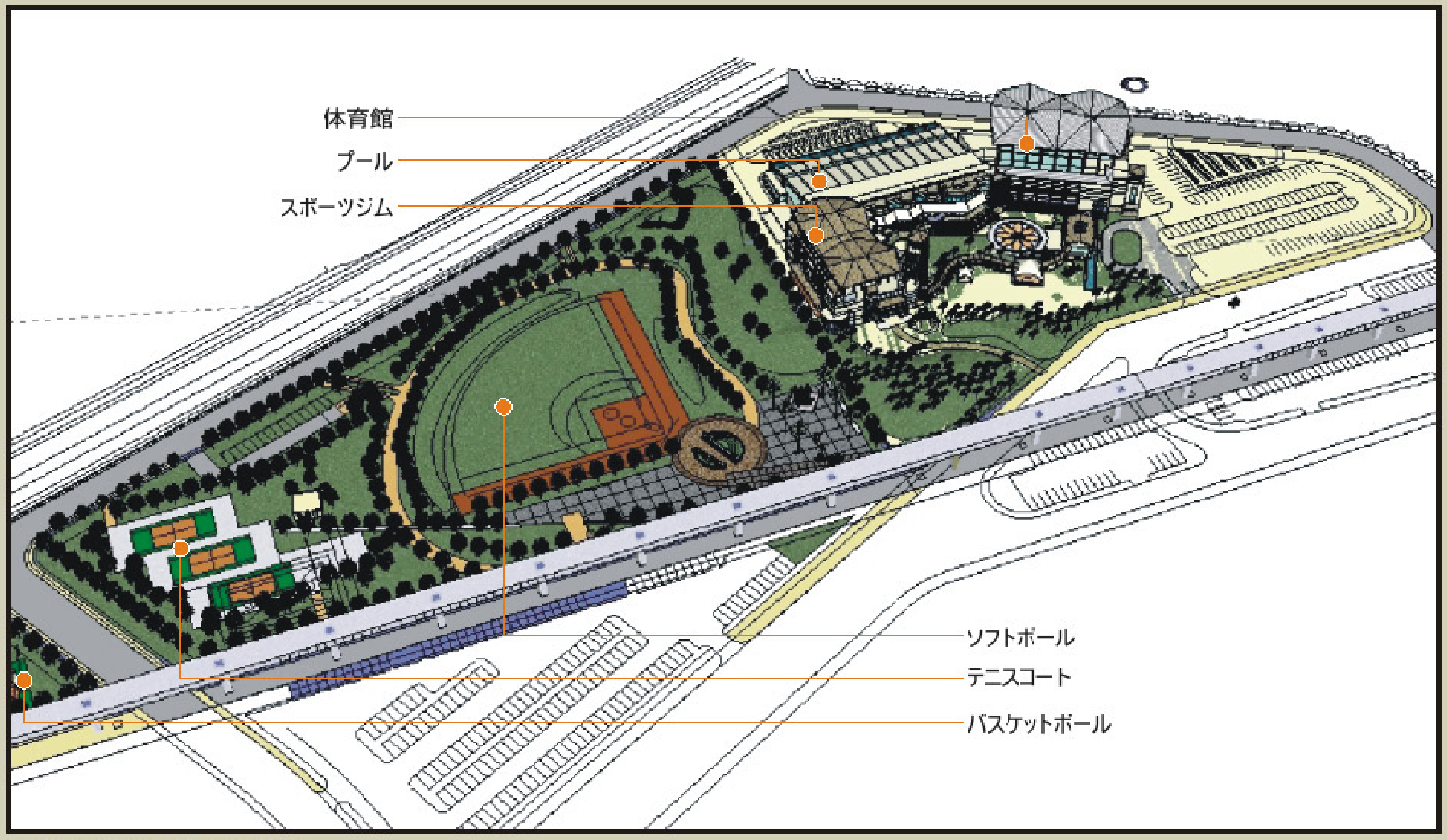
多元的な南科生活機能を作り、園区内では、運動公園(ソフトボール・バスケットボールやテニスコート等設置)・健康生活館(バトミントンコート・バスケット・卓球・温水プール・SPA療養館・スポーツジム・サウナーや中華西洋式レストラン等設置)とコミュニティセンター(託児所・商店・レストラン・児童遊戯場・多目的中庭広場等設置)、それぞれ2005年5月、2006年6月と2006年4月に竣工予定されている。

■展望七　高雄園区加速的な発展

2005年電信産業集積の形成を促し続け、産業学術促進会を成立させ、産業学術研究センターと中山高速連絡道路の開通など、高雄園区の発展潜在力が楽しみにされる。

■展望八　高鉄振動減少工事

高鉄振動減少工事は高鉄開通される2ヶ月前に完成予定しており、続けて積極的に高鉄振動減少効果の実験測定作業等をし、振動減少の質を保たせる。



> 運動公園(健康生活館含む)